

新年号

特集①

3000億円から3兆円超へ

東京オリンピック

本大震災が発生したが、当時の石原慎太郎都知事が、7月に20年大会への再挑戦を表明し、同年9月に東京招致委員会を立ち上げ、13年9月8日（日本時間）午前5時過ぎにアルゼンチンで発表され、56年ぶり2回目の、20年開催の決定がされたのです。

震災発生の間もない事もあり、招致運動や招致決定に際しては、賛成、反対色々な意見が出た

（おもてなし）で決定した、2020年（第32回）の夏季東京オリンピック&パラリンピック。東京は2016年大会の招致レースで、国内支持率の低迷や、ロビー活動の出遅れが響き、惨敗してしまった。

復興を後押しする為に、聖火リレーは東北の被災地を縦断したり、宮城県ではサッカーを行なう事も決まっている。

約8ヶ月後となつた競技場や、周辺はどうなつているのだろうと、11月



完成まじかの新国立競技場

（おもてなし）で決定した、2020年（第32回）の夏季東京オリンピック&パラリンピック。東京は2016年大会の招致レースで、国内支持率の低迷や、ロビー活動の出遅れが響き、惨敗してしまった。

復興を後押しする為に、聖火リレーは東北の被災地を縦断したり、宮城県ではサッカーを行なう事も決まっている。

約8ヶ月後となつた競技場や、周辺はどうなつているのだろうと、11月

ビーチバレーの会場だが・・

国立競技場へ

次に国立競技場に行き、外見的に見てもデカイと思った。高橋部長も

「よく仕事でこの近くに

来ていたが、前よりも大きくなっている」と言つて笑っていた。残念ながら日曜日という事で、内部の様子は見ることが出来なかつたが、取り付け道路や植栽もとても良く出来たとの事である。近くに風車が2基あってよく回っていました。という事は強いついた。という事は強い風が吹くという事である。又羽田空港からひつきり無しに飛行機が凄い爆音で飛んでいた。風、赤潮、匂い、暑さ、音対策と競技者、観客共々大変苦労する競技になると感じました。

最初にボートとスプリントカヌーが行われる、海の森競技場に行きました。このボート会場は小池都知事が宮城県に視察に行つたり、他の場所も見たりしてなかなか決まりがしました。競技が行われるのは真夏である。

気温は30度、35度になるだろうから今よりもっと濃くなり、匂いも強くなると思う。選手が可哀そ

うだ。スタート台は有つたが、まだコースラインは出来てはいなかった。対岸の観客席は最初の計画から半分に、そして屋根も半分になってしまった。

IOCの鶴の一聲で決定される予定の、朝風公園に行つてみたが、まだ工事中で会場の形体すら分らない状態でした。

IOCの鶴の一聲で決定はまだいいとしても、北海道まで行つてやるのは東京オリンピックと言えんだろうか？

当初から7、8月開催は暑さが指摘されていた訳である。ドーハの世界大会を見ての変更は余りにも奇抜過ぎる。マラソン

はまだいいとしても、北

京、JOCの意向など

全然聞き入れてもらえない

かつた。東北復興五輪なので、近隣の県での競技はまだいいとしても、北

京、JOCの意向など

全然聞き入れてもらえない